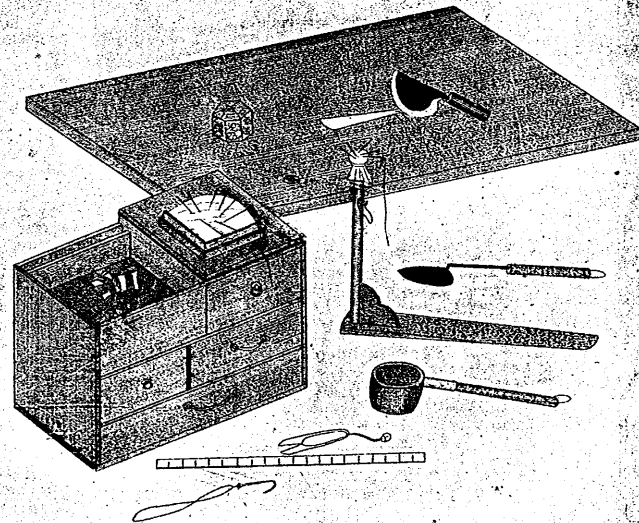


B 20

2453



裁縫諸道具



○第十二	○第十一	○第十	○第九	○第八	○第七	○第六	○第五	○第四	○第三	○第二	○第一
常幅三ツ身裁方	産衣裁ニ枚取	木ハ丈ニ子	縮緬幅二ツ身裁	常幅二ツ身裁	縮緬幅一ツ身裁	常幅一ツ身裁	裁方及縫方稽古法	漆色の種類大畧	呉服物の種類大畧	衣服の種類大畧	裁縫の讀物

書中目錄

- 第十三 追送り三身裁
- 第十四 常幅四身裁
- 第十五 車裁方
- 第十六 本裁一及
- 第十七 大幅物着尺裁方
- 第十八 金巾着尺裁方
- 第十九 单物縫方
- 第二十 裕物縫方
- 第二十一 綿入物縫方
- 第二十二 常幅單羽織
- 第二十三 縮緬一袖ふ羽織
- 第二十四 八丈小羽織
- 第二十五 縮緬小羽織

- 第二十六 常巾折返羽織
- 第二十七 長羽織裁方
- 第二十八 二巾物中裁羽織
- 第二十九 木綿夜着裁方
- 第三十 脊入夜着裁方
- 第三十一 被布裁方
- 第三十二 印半天裁方

附録

- 常巾逆社裁三身
- 常巾熨斗目裁
- 廣幅物逆社裁着尺
- 金巾類二幅着尺二反
- 廣機留着尺三反
- 常巾前襟裁
- 本八丈振袖裁
- 下巾物着尺一反
- 唐機着尺二反羽織一反
- 常巾三丈六尺物

- 巾一尺三寸物 裾廻し
- 常幅小裁羽織
- 縮緬類中裁折返し羽織
- 常巾折返し羽織 二丈八尺物
- 縮緬折返し羽織
- 半合羽折返し
- 金中長合羽
- 花色絹むちち
- 宗十郎頭巾
- 縮緬金中類裾廻し
- 常巾前襟裁折返し羽織
- 常巾折返し羽織
- 三丈物裕羽織
- 羽織胴裏
- 大巾金中半合羽
- 常巾絹小裁むちち
- 稽高袴馬乗仕立

総て五十九種

書第一

青木輔清 編



日も致べからざるの業あり故ふ女子の必也先
 習ふ履きい讀書算術裁縫此三藝なり此三藝を
 知らざる時の貴賤貧富此論ふく我身の不自由
 なるのみあり於父母夫又事一又子に養ふこと
 も能いぬ且人ふ指し笑るべし故は幼少此時よ
 り學校へ往き師の教ふ從て讀書算術を習ひ次

で裁縫の業は就て勉強せしむるは三藝の内にも
裁縫と別して女は身を取て生涯第一の職務
なきば縫令富貴の家は生るども必ず習ひ知る
處より

裁縫を習ふよ先衣服の種類と其品合格好潔
色等より其名震はよく覚えそれより次第裁
方縫方等を習ふ處又衣裳は持るふい華美花
麗を好まば土地乃風俗と時比流行を斟酌し余
り流行小外まば又流行は泥ます四季乃寒暑は
隨ひ年の老幼より身は應トせる品柄模様を

撰ぶ處し

著類を裁ふ先長尋寸尺は度り緯經裏表を見
紋附模様物柄柄格好等より身幅兩袖襟袂社
裾廻同襟袖口等を見積り肩揚腰揚もき袂袂社
附襟下衽等乃明きを檢考し然る后之は裁断
す處し一度裁誤すれば悔るとも及おべり
其裁方より男女小長の區別よつて一身三身
産衣中裁本裁脊連追送り逆社前襟裁熨斗目裁
等あり又大幅小幅本場間替伸縮等の變ふよつ
て或は焼小手火熨斗水張等をまろことあり其

羅紗

羅脊板

猩々緋

兜羅綿

牛郎

唐棧

金巾

二子

太物

綜

光綾

綸子

緞子

縹子

縹

紹綾

紗子

羽二重

八端

琥珀

天鵞絨

毛氈

絹紬

上布

更紗

縮緬

晒目

改機

太織

給子

織

熨斗目

茶宇

龜綾

龍門

浮織

紋織

郡内

上田

八丈

青梅

棧留

細美

雲齊

生平

紋羽

横麻

葛織

紋

結城紬

小倉

博多

紙布

大布

霜降

芭蕉布

絳紅

緞織

糸織

薩摩

琉球紬

北絹

毛流

秩父絹

仙臺平

川越平

越後

數寄屋

京縮

明石縮

白練

練操

諸糸

組糸

厚板

白

黒

青

赤

黄

紺

紺

紅

紫

藍

茶

緑

浅黄

桔梗

花色

木賊

萌黄

鬱金

蘇枋

茜

○第四 染色の種類大略

萬筋	鏡色	三南	格子	小紋	吉岡	柿色	御納戸	煤竹
大目	目引	鶯茶	辨慶	中形	葡萄	水色	栗色	千種
南京	鳴海	茶褐色	裾模様	友仙	縞	桃色	栗梅	嵐
天竺	麻子	蔓草	丁子	横縞	無地	空色	媚茶	高
海老	豆紋	鶏卵	藤色	豎縞	深貫	朽葉	紅梅	樺
織色	芥子玉	藍微塵						

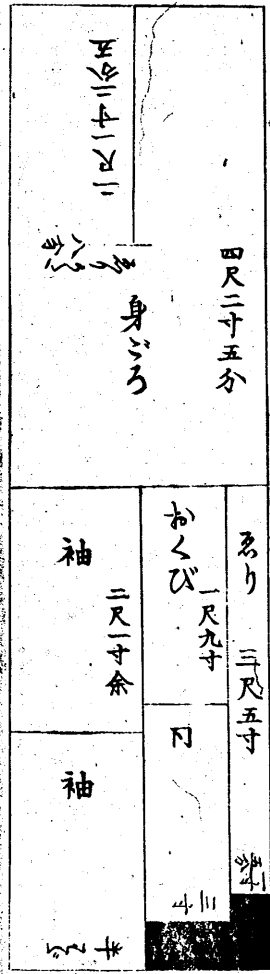
○第五 裁方及縫方稽古法

裁方を習ふよ紙にて木綿幅又ハ縮緬幅等の
 何分一畝ハ雜形以て一身三身等手みぢか此
 者より次第小裁ち習ひ一疋一疋度ハ大勢を
 教授し又ハ試験せざる此法とよしと以
 縫方と習ふよハ先一重の布を真直よ幾回も縫
 ひ夫より二重三重とかさねて縫目の曲らぬ様
 小縫習ひ針乃運びを自在にして夫より一重の
 布を縫ひ合せることを習比然る後ハ草の衣類
 より次第小縫ひ習ふ也

○第六 常幅一身分裁方長八尺五寸

常幅一身分の裁方を先総長さを二ツふ切り其半分を身しろと為し半分を復堅ふ二ツふ裂き其一ツふで両袖ととり残り一ツふて両社と襟を取らなり

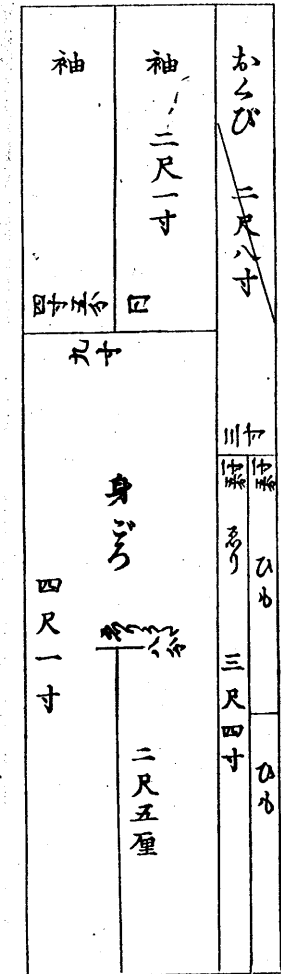
袖だけ 二尺一寸五分
一尺五分



○第七 縮緬幅一身分裁方長六尺二寸

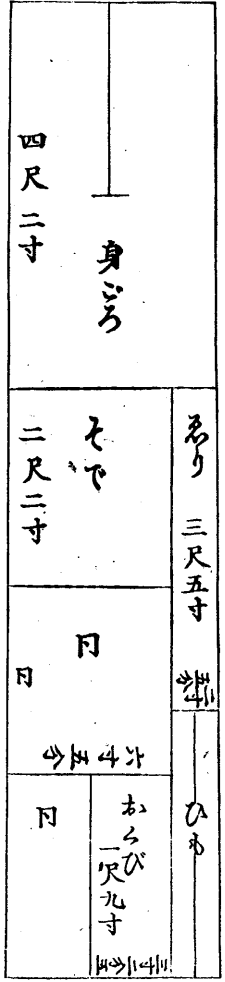
縮緬幅一身分の裁方先片縁よて三寸幅通り堅ふ切り落し其内二尺八寸を両社と為し残りよて襟と両ひもと取り又廣き片端よて四尺一寸を身しろとあし残り比二尺一寸を堅断して両袖と取らなり

袖大 二尺一寸
一尺一寸



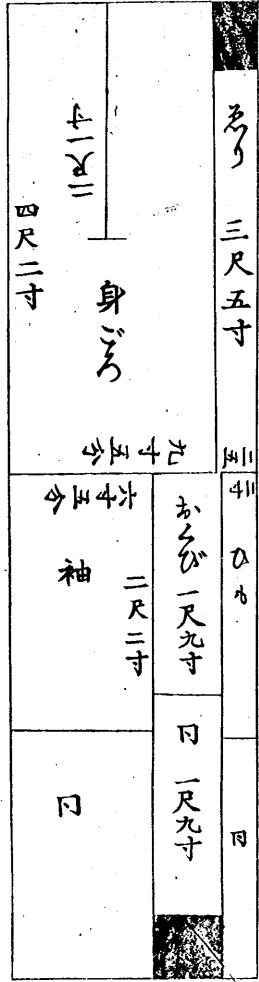
○第八 常幅二歳子の一身裁 長さ丈五寸
 常幅二歳子の一身裁い先四尺二寸を裁て身
 ろと為し跡を六寸五分幅ふ立断し其内四尺四
 寸と兩袖と為し一尺九寸よて兩社を取り又狭
 き片わきよて襟と兩紐取るあり

袖丈 二尺一寸
 一尺一寸

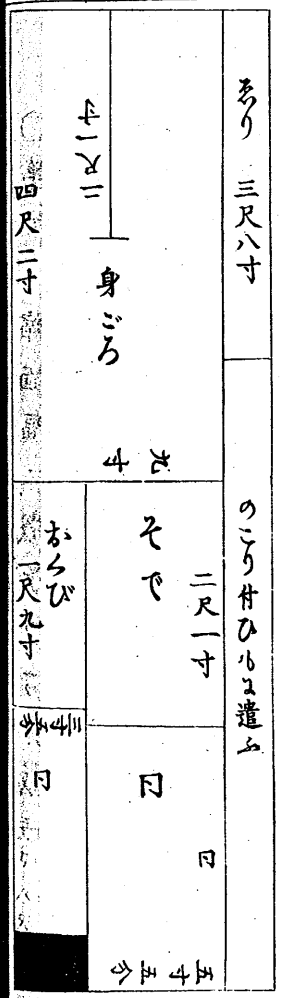


○第九 縮緬幅二歳子の一身裁 長さ丈八尺六寸
 縮緬幅二歳子の一身裁い先四尺二寸を切取り
 其内片端二寸五分を襟とし跡を身ぶろと以又
 跡比切よ至六寸五分立断して兩袖と為し復
 三寸五分を立断して兩社とト残りを兩紐と為
 すゆわ

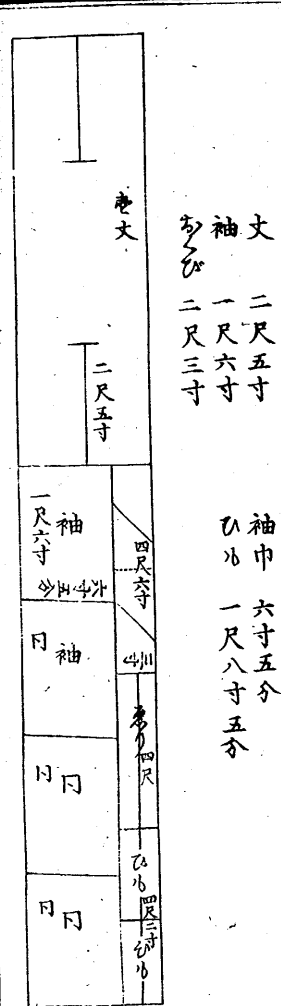
袖丈 二尺一寸
 一尺一寸



○第十 本八丈二歳子比一ッ身裁 長三八尺四寸 幅一尺一寸
 本八丈二歳子乃一ッ身裁ハ先片縁二寸通りをろ
 きて襟と紐を取り跡切より四尺二寸を裁て身
 ころと為し又残り切より五寸五分幅ふ立断し
 て兩袖を取り其残り三寸五分を兩社と為せば
 あり 三尺八寸
 袖丈 二尺五寸
 一尺五分



○第十一 産衣裁二枚取 長二丈二尺八寸
 産衣裁ハ先一文を裁て身ごろ二ッを取リ跡切よ
 り六寸通りを立断して袖四ツと為し又其跡切の
 内四尺六寸を二ッ折り斜み裁て社四ッを取り又
 四尺より襟ニ懸を取り残り切四尺二寸を以て
 紐とせざるなり

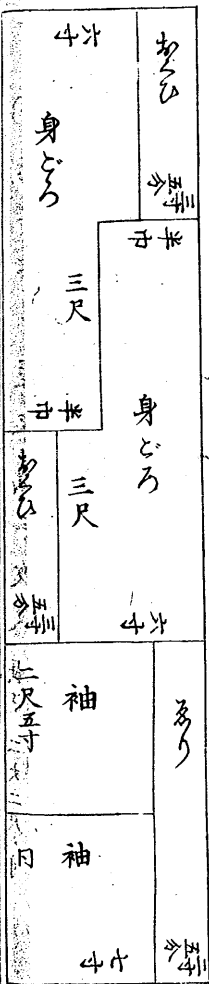


○第十二 常幅三身裁 長さ一丈四尺

常幅三身裁ハ先五尺を裁て袖と為し其片縁より襟を取り又跡切を三つ折り其折目二所を中央迄裁ち然して其中央を堅ふ鍵のては断て身ごろと為し其兩端よて兩社を取らあり

但し両面もの 袖丈 三尺 一尺二寸五分

但し付ひもの外あり

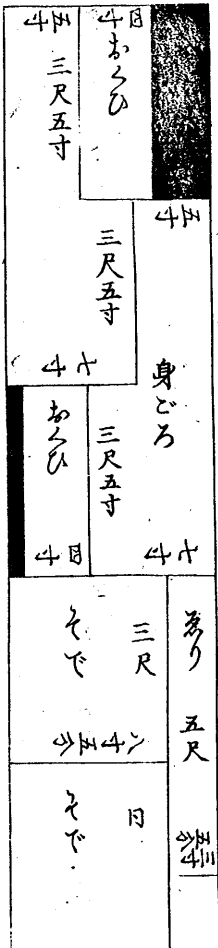


○第十三 追送三身裁

長さ一丈六尺三寸 但し幅一尺二寸片面もの

追送三身裁ハ先六尺を裁て袖と為し其片縁より襟を取り又跡切を三つ折り其折目を向前より七寸づゝ裁ち然して其中央より一寸片端よ寄せて堅ふ鍵のては裂きて身ごろと為し其兩端よて兩社を取らあり

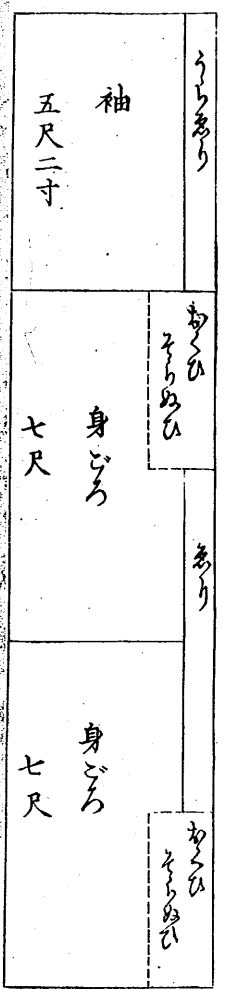
文 三尺五寸 袖 五尺五寸



○第十四 常幅四ッ身裁 長さ一丈九尺二寸

常幅四ッ身裁ハ先端ハ五尺五寸を裁テ兩袖と
為シ其片端より裏襟ヲ取り残り切を二ッ折リ
圖の如ク縁より襟を取リ然して其折目より裁
ちて身びろとシ其端をそら縫いて衽と為ス系
わ 但し十四五歳まで着るものは袖
より裏襟と取る處より作

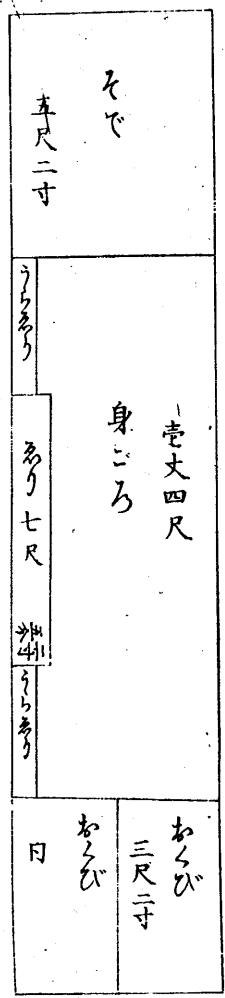
丈 三尺五寸 袖 二尺六寸



○第十五 車裁 本裁との間より 長さ一丈二尺四寸

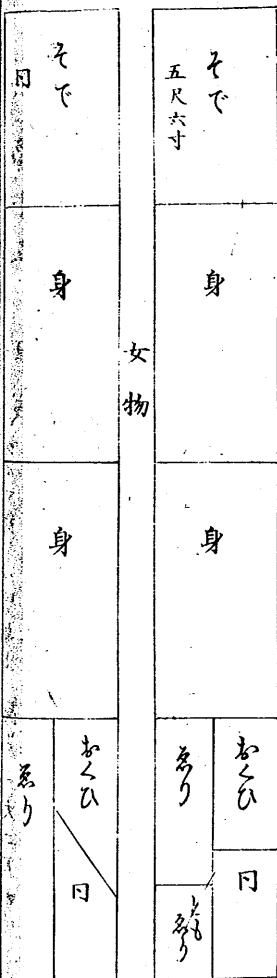
車裁ハ先端より五尺二寸を裁テ兩袖と為シ
又片端より三尺二寸ハ裁ち之を立断して兩衽
とシ又残り切一丈四尺の縁を堅小裂きて襟と
裏襟を取り跡切を二ッ裁て身ころと為スあり

丈 三尺五寸
袖 二尺六寸



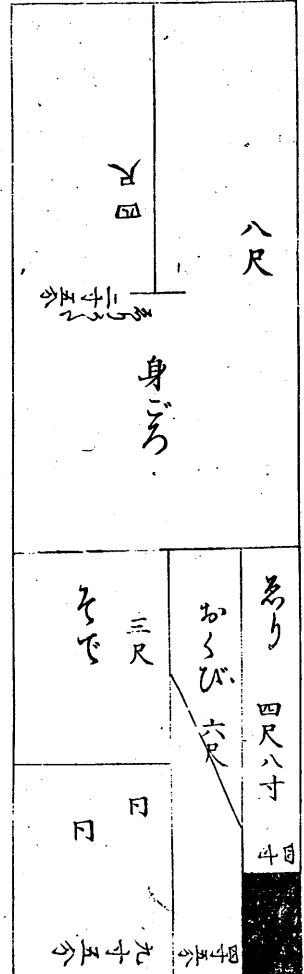
○第十六 本裁一反

見言 本裁の先片端よて五尺六寸を裁て兩袖と為し
 残りききと五七分ふ折り其四ふて身ごろを取
 りあとの一七分を中央より立断し其半分よて
 本襟と掛襟を取り残り半分よて兩衽を取る
 り 女物ふきば鏡 男物
 衽ふまるあり



○第十七 大幅物着尺裁方

大幅物着尺裁方の先幅比まよて八尺を裁て
 身ごろと為し残り切を九寸五分幅ふ立断して
 兩袖と一又残り切より四寸五分幅を裂き取り
 之を斜小裁て兩衽を取り其残り切を襟と為し
 あり 丈 四尺 袖 一尺五寸

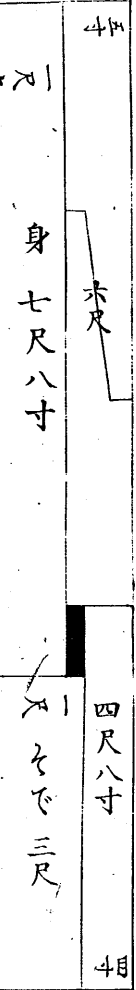


裁方 十二

第十八 金巾着尺裁方 長さ一丈八寸 巾二尺四寸物

金巾着尺裁方の先長さ七尺八寸巾一尺九寸を裁て身ごろと為し其片わきの内六尺まで両衽を取り残り切の内長き蒙ふて幅四寸を襟とす跡切を堅ふ二ッふ裂きて両袖と為せあり

丈 三尺九寸
袖 一尺五寸



第十九 単物縫方

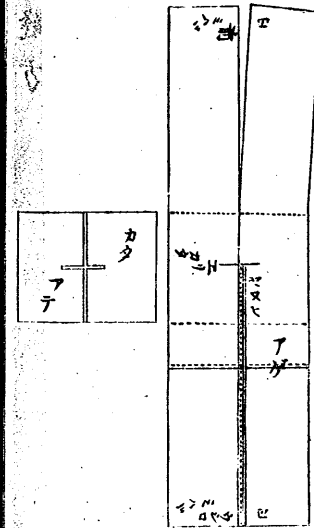
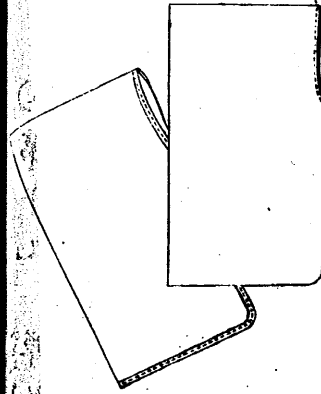
衣類を縫ふにいまづ前ふいへる如く針の運を自在ふしなる後ら簡易なる單物より縫ひ習ふを扱ふの縫ふ前よりよく総体の丈尺を改め夫より縫ふべき所へ麻まで印をつけ第一に袖と縫ふべし則ち袖口を八寸と定めこゝに印を付け先表と向けて袖下と縫ひ夫より引返して裏と向け八口の裏より始め袖下まで縫廻して袖口と締るあり

第二は脊と縫ふべし是は襟肩より始めて二

重小縫ひ後中八寸前中六寸五分と定め後乃内
 揚の袖付より一寸さげ前の内揚は又夫より一
 寸さげを女物やまば前中六寸後巾七寸
 五分あり且内揚おおよそ

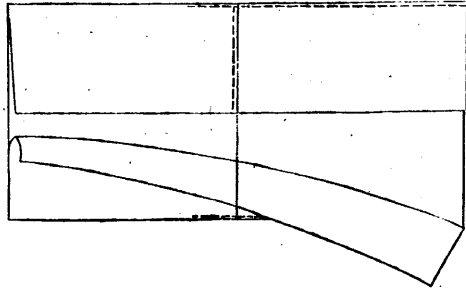
袖の番

脊縫裏の番

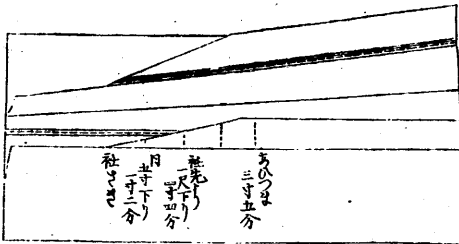


第三ふの裙の方より始めて兩脇と縫ふ
 第四ふの衽先より縫始めて兩衽と付るあり寸
 法の衽先より五寸下り成一寸二分と同一尺

脇縫裏の圖

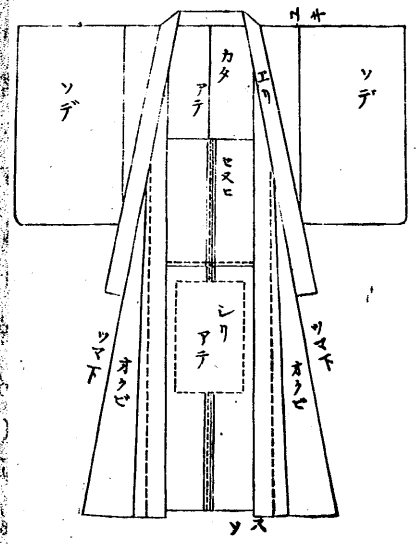


衽附の圖



下り袷一寸四分と合襷と三寸五分と然る
 後小長くら履おせべ
 第五より襷下とくけ裾縫をなすべし

仕立上の図



第六より襟と裏襟を付け夫より尻當と當座
 第七より同襟をか前と脇との縫込をとら夫
 より袖と付るあり

○第二十 袷物縫方

袷物と縫ふより先草物と縫ふ通りの手頃と為
 一夫より裏袖へ袖口と付け表の袖へ縫付て中
 よて綴縫とせし又脊縫を裏表とも一度に致
 し且表の内揚を草物の通り腰ふて裏の内揚
 の肩よてせぬ裏の襟を附る前より長く長をく
 らべ寸法を定めて裾印と付け夫より襟を付け

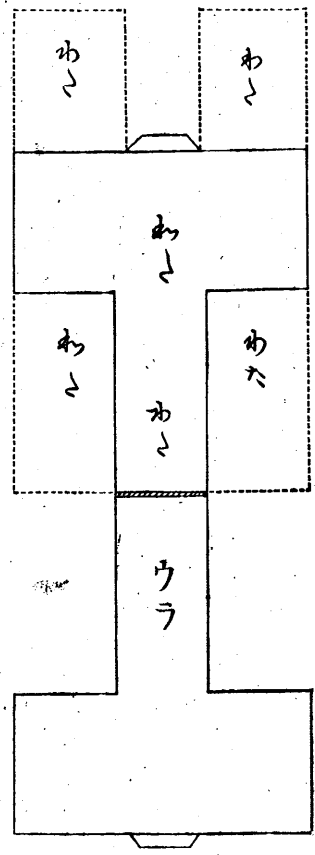
下後ら裾と合はるなり扱まへ仮縫とくけて妻
 下と縫ひ夫より引返して中綴とあり裏襟と付
 け本襟と縫ふなり然る后不行と定めて表の袖
 を縫付けそきふ準とて裏とく草最後ふ同襟と
 懸るふ至

○第二十一 綿入物縫方

綿入物の縫方の先單物の如くふ縫ひ夫より裏
 袖へ袖口と付けよく裏と表の袖とくらべて后
 之と別ふ縫ひ又引返して假縫とく草恰る裕の
 如くふ然る此形裾と合せ裏表の袖と付け残

らは假縫とが草て一度疊付けべし扱疊付け
 るのち之と延して綿と入せ襟下をくけ襟と綴
 又袖口とくけ布綴と為し最後ふ同襟と懸るな

綿入の畧

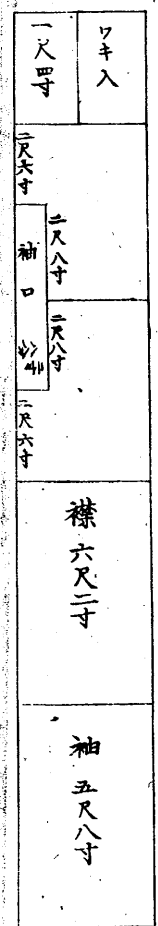


羽織類裁方及縫方

第二十二 常中單羽織 長さ二丈四尺二寸

常中單羽織の片端より五尺八寸を裁て袖と為し六尺二寸と裁て襟と為し一尺四寸を裁て脇入と為し跡切と二ッ小折り中程の片縁ふて袖口を取り残り切の折目と裁て身ごろと為せなり

袖 二尺六寸
一尺四寸五分



右の襟肩の通例二寸八分あせとも肥満の人の

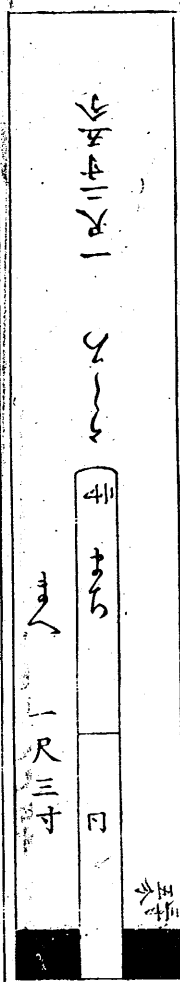
三寸と為せば 但し切巾一尺もあるときは襟肩と四寸或は

あり何せも襟肩小割合ひ脊まで縫込むなり

○第二十三 縮緬一ッ身袖ふ羽織 長さ二尺七寸五分

縮緬一ッ身の袖ふ羽織裁方の片縁より三寸通りを裂きて襟と為し跡切を身ごろとせ但し其真中ふて二寸巾一尺三寸を取りて襷と為せ也

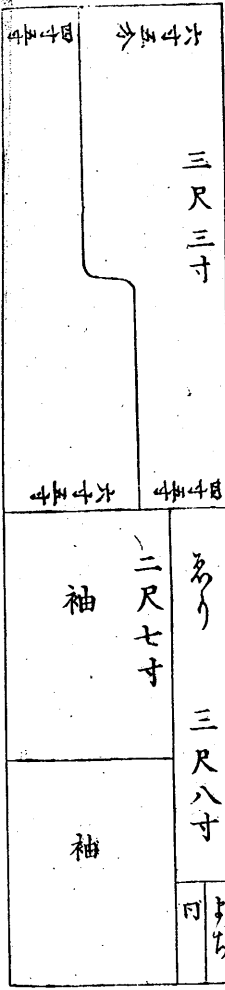
ありとせ 三寸



○第二十四 八丈小羽織 長さ八尺七寸

八丈小羽織裁方は先片端より三尺四寸と裁ら
其内片縁を裂きて襟と襷ととり其片わきを袖
と為し又残り切と兩端より入違ふ幅六寸五分
と四寸五分の間を中程まで立断して錠の手と
為し之と身ごろとよるあり

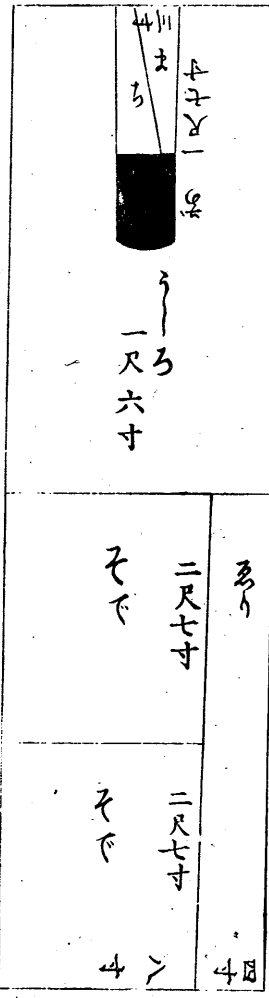
たけ一尺五寸 袖一尺三寸五分



○第二十五 縮緬小羽織 長さ八尺七寸

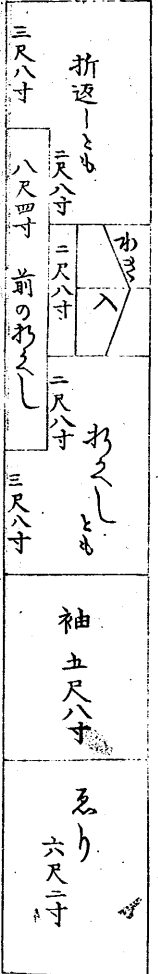
縮緬小羽織の裁方ハ先片端より三尺四寸と裁
ち其内片縁四寸を裂きて襟と為し其片わきを小
て袖と取り又残り切此片端の中央より中三寸
長さ一尺七寸と切り取て襷と為しべし

袖丈 一尺六寸 一尺二寸五分



○第二十六 常中折返羽織 長さ二丈八尺

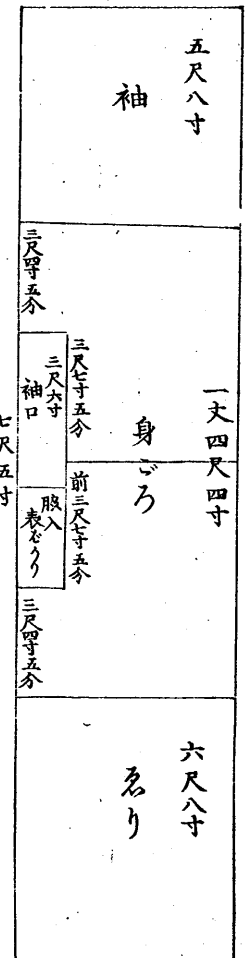
常中折返羽織は片端より六尺二寸と裁て襟と
 又五尺八寸と裁て袖と為し跡切よて圖の如
 く片縁の中程よて細長く前の折返し切と取り
 又兩端より六尺六寸宛身ごろと取り其残り切
 と圖の如く裁ちて脇入とせざるあり
 大 二尺六寸 袖 一尺四寸 但しあり三折裁



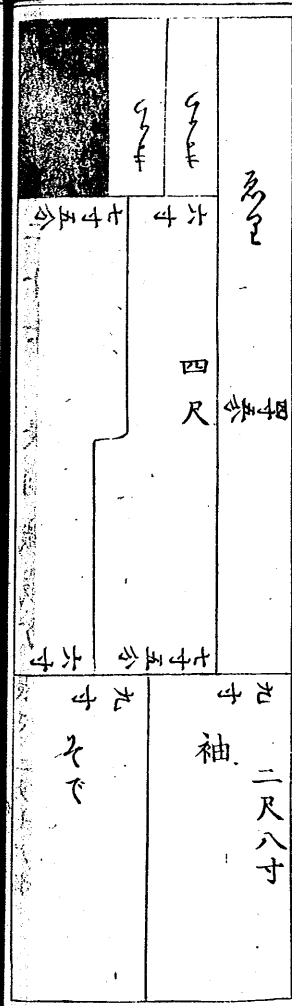
○第二十七 長羽織裁方 長さ二丈七尺物

常中物長羽織はまづ六尺八寸を裁て襟と取り
 又五尺八寸を裁て兩袖と取り跡切と身ごろと
 為しあり尤其内長さ七尺五寸と欠きて脇入袖
 口と為しこと圖の如し 常中一反よては返り裏甚と少し

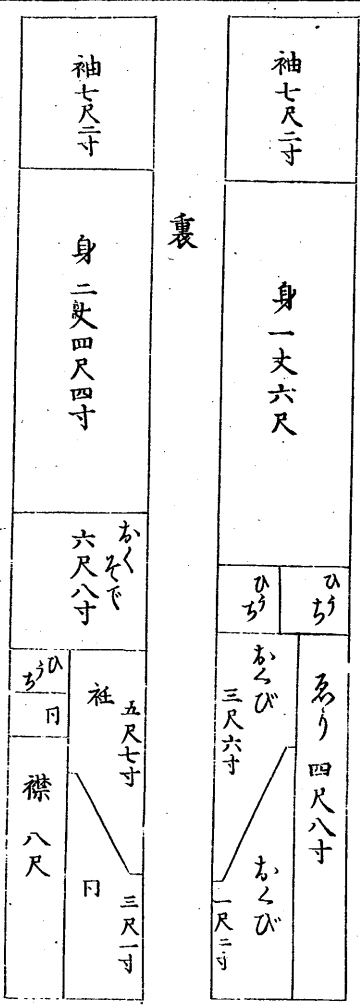
丈 三尺四寸五分
 袖 一尺四寸五分



○第二十八 二巾物中裁羽織 長一丈四尺 巾一尺八寸物
 二幅物中裁羽織は先片端より二尺八寸を裁て
 兩袖と為し残り切の片縁よて中四寸五分を裂
 きて襟を取り跡切の内四尺を裁ち兩端より鍵
 比手ふ裂きて身ごろと為し其又切よて襟を取
 るあり
 袖丈 一尺四寸



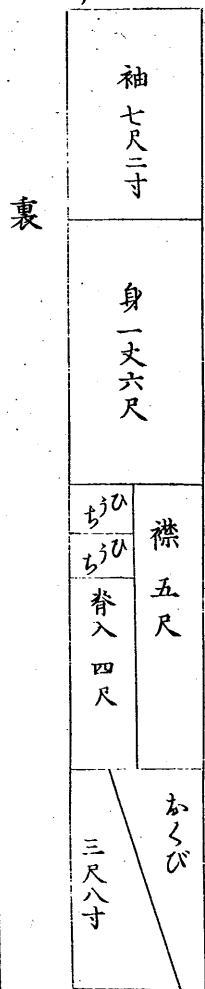
○第二十九 水綿夜着裁方 表二丈八尺五寸 裏一丈二寸二尺
 水綿夜着の裁方寸法は圖の如く仕立上袖一尺
 七寸五分長いふき共ふ五尺あり其内ふきは一
 尺と志るべし
 表



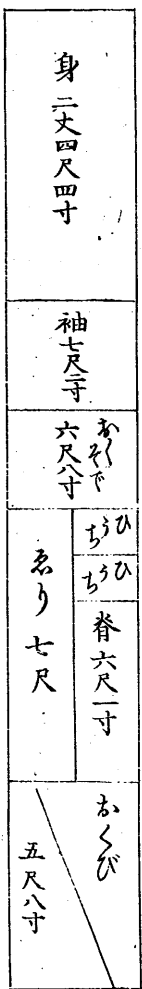
袖七尺寸
 身二丈四尺四寸
 六尺八寸
 五尺七寸
 襟八尺
 三尺一寸

○第三十 脊入夜着裁方 表 三丈二尺 裏 一匹
 脊入夜着裁方寸法 骨の如く仕立上袖一尺
 七寸五分長いふき共五尺其内衽一尺あり

表



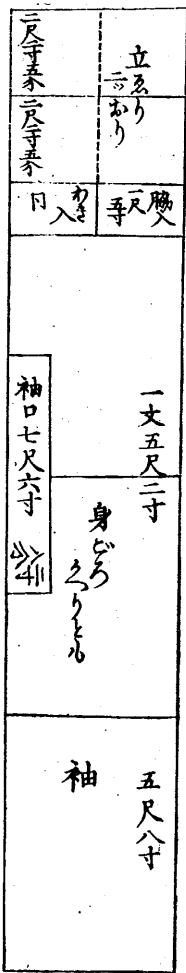
裏



○第三十一 被布裁方 長さ二丈七尺七寸

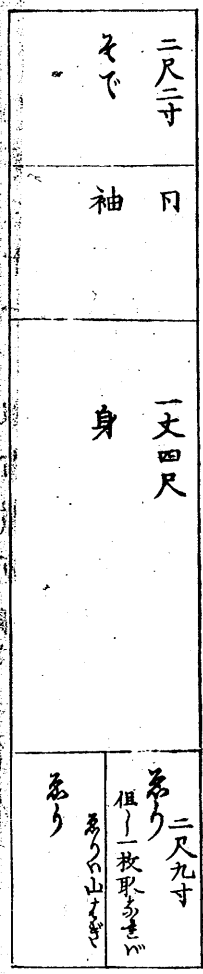
常中物被布の裁方いまづ五尺八寸を裁て袖と
 為し一丈五尺二寸を裁て身と袖口を取
 又一尺五寸を裁ち立断して兩脇入と残り切
 と二ッ小裁ち半巾み折りて前の立襟と為さる

上り丈 二尺五寸
 袖 一尺四寸



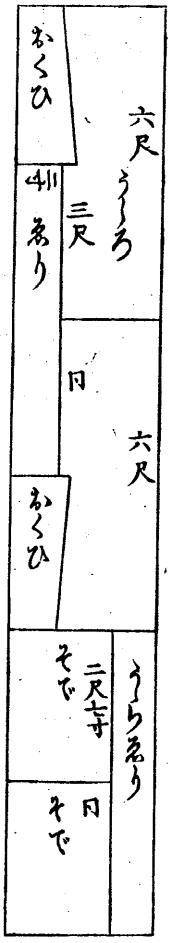
○第三十二 印半天裁方 長さ一丈七尺七寸
 印半天裁方のまづ四尺四寸を裁て兩袖を取り
 次小一丈四尺を裁て身ひろと為し残り切を半
 中不裂き繼て襟と為す但し二枚取以上なきは
 襟二懸と並べて取る處

上り大 二尺四寸
 袖 二尺



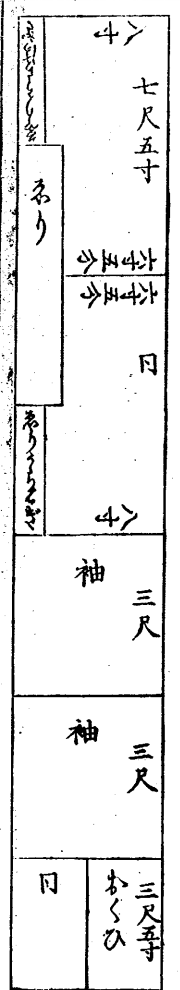
附録 ○常幅逆社裁三身 長さ一丈七尺四寸

多身 三尺
 少身 一尺三寸五分



○常幅前襟裁 長さ 二丈四尺五寸

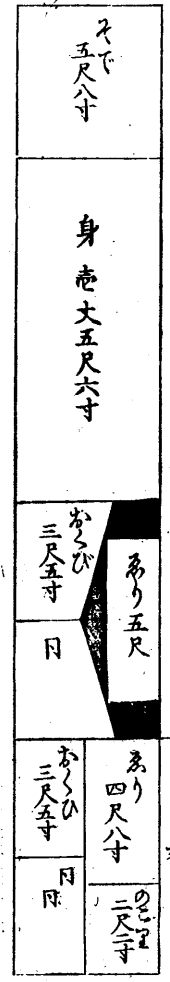
袖 三尺七寸五分
 袖 一尺五寸



○常幅熨斗目裁 長さ 二丈八尺四寸

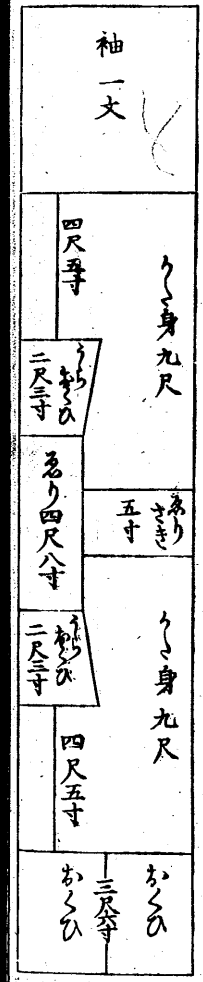
丈 三尺九寸
袖 一尺四寸五分

但し棒おろひの時
左の如し



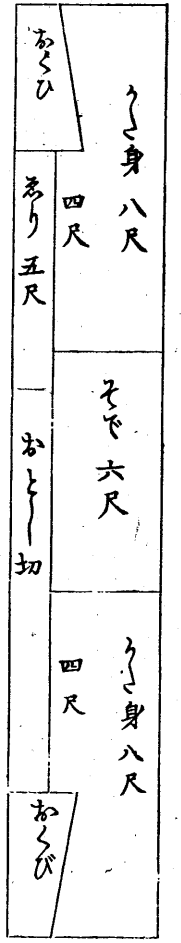
○本八丈振袖裁 長さ 三丈二尺
幅 一丈一尺一寸

さけ 四尺の横り せそより五寸
わりそで 二尺五寸



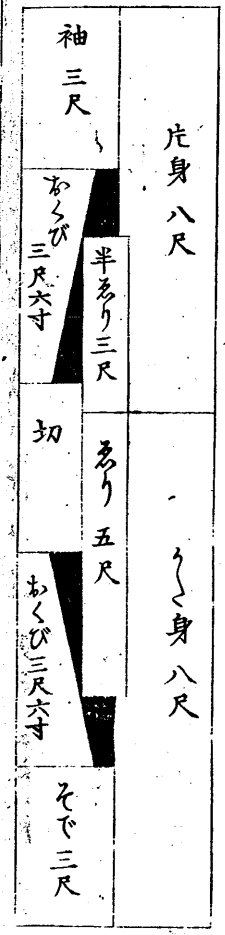
○縮紗 縮幅 廣中物逆社裁着尺 幅 一尺三寸より四寸迄

各半 四尺
そで 一尺五寸



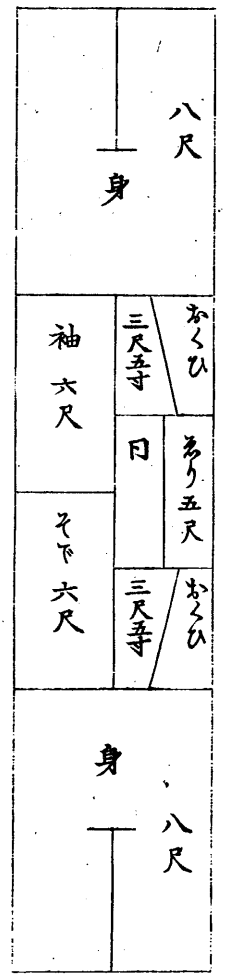
○二幅物着尺一反

袖 四尺
一尺五寸

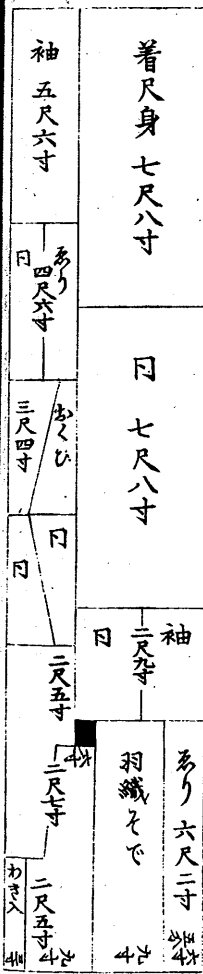


裁縫

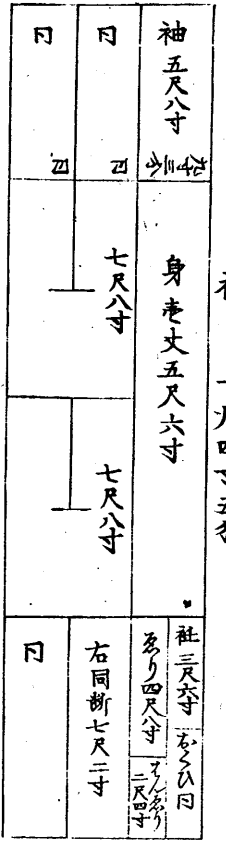
○金中類二幅物着尺二反 長三 二丈八尺
 大四尺 袖一尺五寸 中一尺八寸



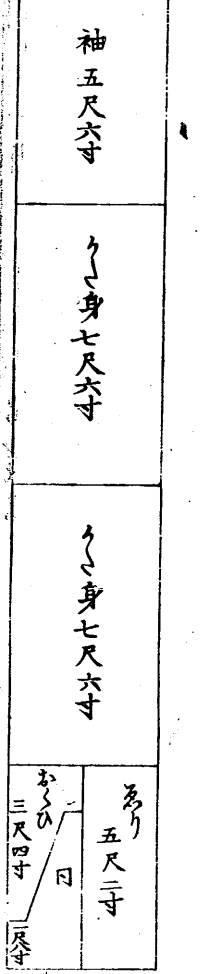
○唐襪着尺二反羽織一及 長三 二丈四尺七寸
 中 二尺七寸五分
 着物 袖大 三尺九寸 羽織 袖大 二尺五寸
 一尺四寸 袖一尺五寸



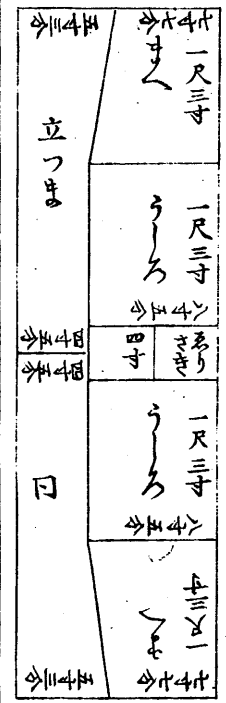
○廣襪留着尺三反 長三 二丈八尺二寸
 幅 二尺八寸
 袖 三反九寸 はんあり甘
 一尺四寸五分



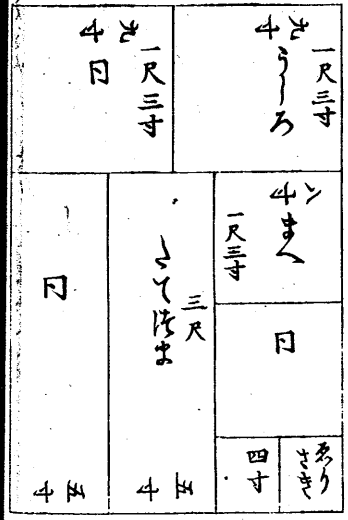
○常幅二丈六尺物 長三 二丈八尺
 袖 三尺八寸
 袖 三尺四寸



○巾一尺三寸物裙廻一入尺五尺四寸

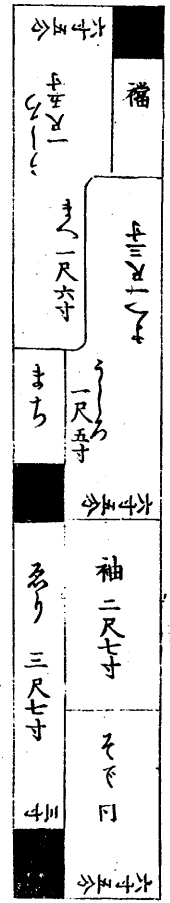


○縮緬金中類裙廻
裁方
入尺四尺三寸
巾一尺八寸



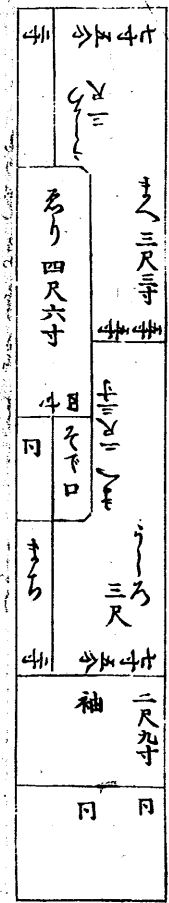
○常幅小裁羽織 入尺一丈

多け一尺五寸
そで一尺三寸五分

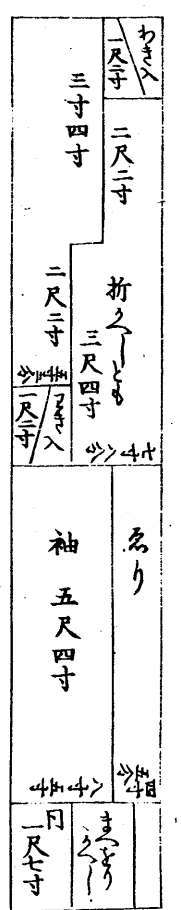


○常幅前襟中裁折返一羽織 入尺一丈九尺

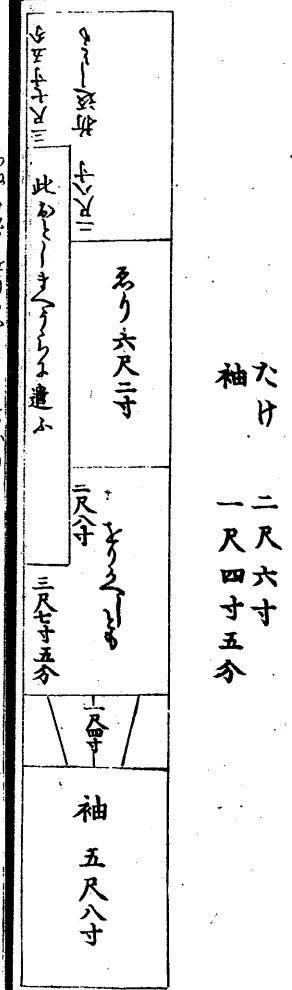
多す一尺八寸
袖一尺四寸五分



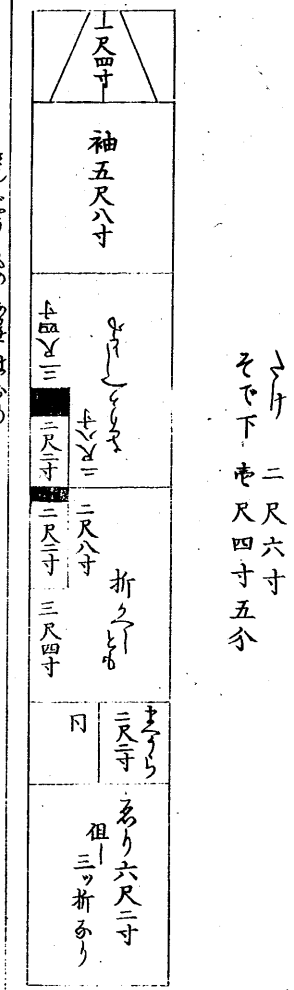
○縮緬類中裁折返一羽織
 長さ 一丈三尺九寸
 幅 一尺三寸位
 袖 多け 二尺
 一尺三寸五分
 うろ折返一 一尺四寸



○常巾折返一羽織
 長さ 二丈六尺五寸
 袖 大け 二尺六寸
 一尺四寸五分

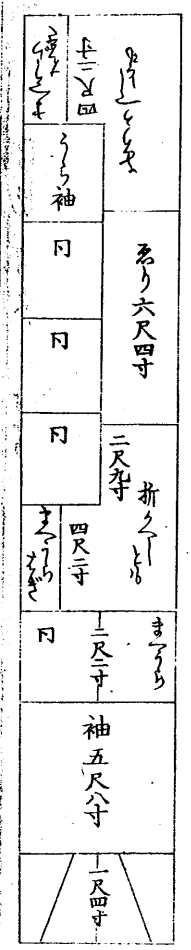


○常幅折返一羽織
 長さ 二丈八尺
 袖 大け 二尺六寸
 一尺四寸五分



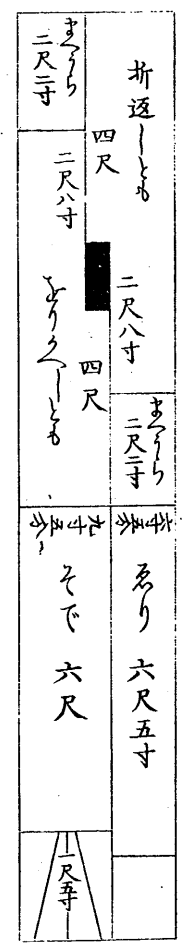
○三丈物袷羽織
 但一両面物
 外二肩の胴裏 四尺

丈 二尺七寸
 袖 一尺四寸五分

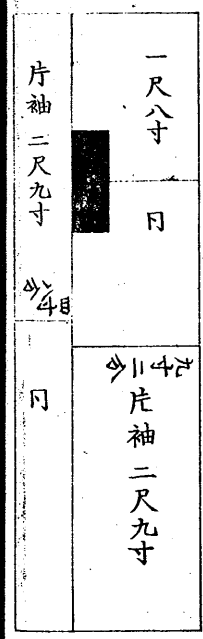


○縮緬折返一羽織
 長さ一丈六尺五寸
 幅一尺六寸

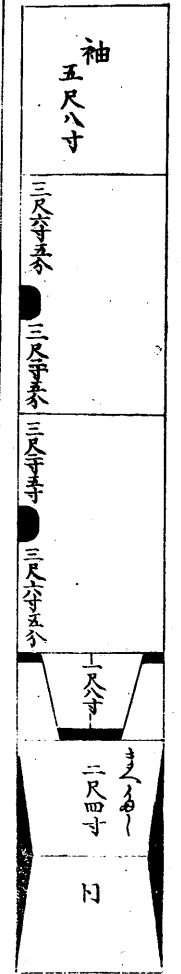
大巾 二尺六寸
 小巾 一尺五寸



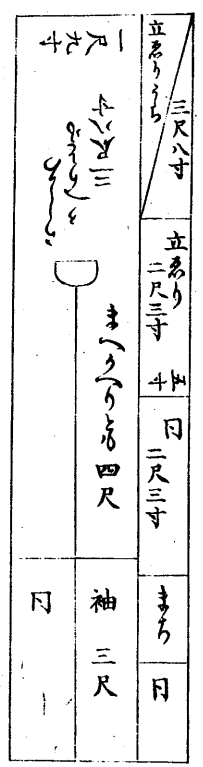
○羽織 胴裏
 長さ 六尺五寸
 巾 一尺四寸
 但一片袖とてなき



○半合羽折返
 長さ 二丈七尺
 但一胸裏丈三尺八寸
 小巾 二尺八寸
 小下 一尺四寸

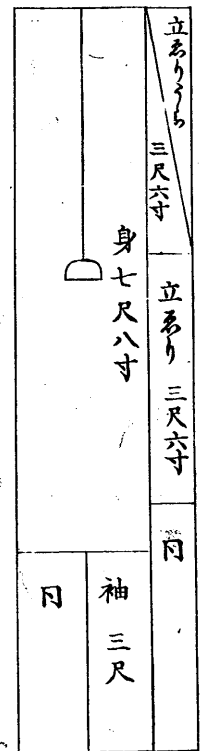


○大幅金巾半合羽
 入尺 一丈八尺
 巾 二尺四寸



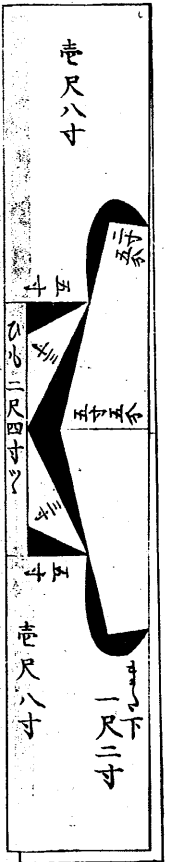
○金巾長合羽

八尺 一丈八尺
中 二尺四寸



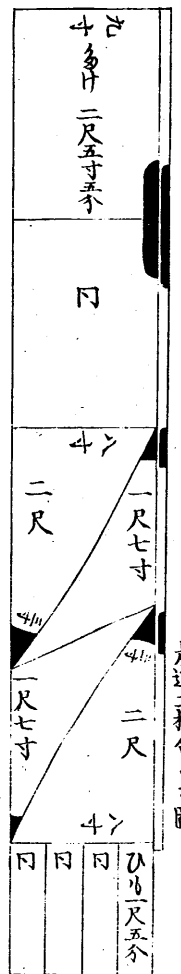
○常幅絹小裁むつち

長さ 一丈二尺
胸廻り 二尺
中 三尺一寸
二枚合せる圖



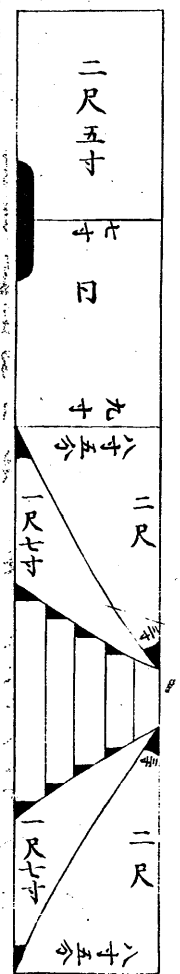
○花色絹むつち裁方

長さ 二丈一尺二寸
胸廻り 二尺七寸
一尺四寸
是迄二枚合せる圖



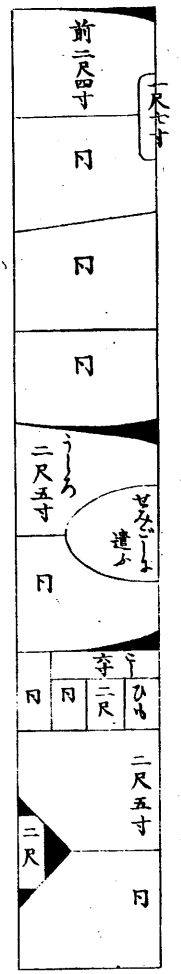
○一重むつち

長さ 一丈一尺五寸
胸廻り 二尺七寸
大 二尺二寸五分
小 一尺四寸



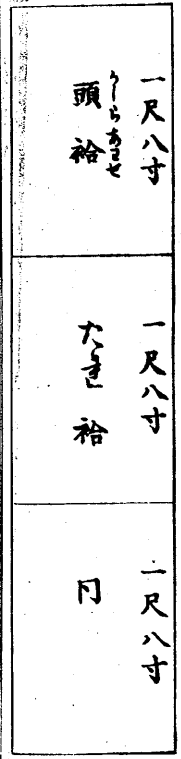
○襦高袴馬乘仕立

長さ二丈二尺五寸



○宗十郎頭巾

長さ五尺四寸
二巾物大巾ちりめんの類



女學裁縫教授書

第二

洋服之部
一冊近出

此書を初篇下次で萬家日用のシヤツ胴着
チヨッキ鷺合羽蝙蝠傘マンテルの類より大
小此禮服に至るまで皆當時の風よ倣ひ其裁
方縫方等を詳し記し且初編に漏るる上下
袴幕暖簾比類より足袋の裁方縫方等不至
よで悉く記し初篇と俱し女子の最も愛藏
せべき書あり

錦森堂敬白

K230.5

K110.5
3

版權免許 明治十年十一月二日

價十七錢

編輯出版人

青木輔清

東京第一區十三小區
濱町二丁目一番地寄苗

馬喰町二丁目書林

發賣人

石川治兵衛



通亭丁目

須原屋茂兵衛

通貳丁目

稻田 佐兵衛

芝神明前

和泉屋市兵衛

本町三丁目

中外堂梅治郎

大傳馬町三丁目

袋 屋龜次郎